



長崎大学熱帯医学研究所フィラリア NTD 室における一盛和世客員教授の

**1. 実施した事業 2. 研究活動 3. 獲得した外部資金** について報告する。

## 1. 実施した事業

長崎大学熱帯医学研究所フィラリア NTD 室の目的は次の 4 点である。各項目に従い活動内容を報告する。

### 1) 情報データの収集および管理

LF、NTD に関する情報およびデータを世界中から収集管理  
熱帯病対策に関する国内外会議・ミッションへの参加貢献

### 2) 国内外ネットワークの構築

ネットワークの構築、運営  
パートナーシップへの日本の参加促進

### 3) 日本国内向け情報発信、啓蒙活動

熱帯病対策に関する講演、集会、メディア  
一般市民に向けた情報の発信、資料の展示

### 4) 熱帯病分野の人材育成

大学生や専門家向けの講義、アドバイス  
関連資料、教材の作成

## 1) 情報データの収集および管理

【2014年度】

- ・ WHO-AFRO RPRG meeting 出席, 29 June to 6 July, Brazzaville, Congo
- ・ 東京都デング熱対策委員会 出席, 9/19, 東京
- ・ 東京都デング熱対策作業部会 出席, 10/16・10/31, 東京
- ・ JICA バングラディッシュ JOCV フィラリア症対策 調査, 16 to 24 October, Bangladesh
- ・ 日本国際保健医療学会/日本熱帯学学会合同学会 出席, 11/1-11/3, 東京
- ・ 男女共同参画シンポジウム「女性研究者のキャリアパス形成」 参加, 11/3, 東京



## 【2015年度】

・共同研究「Completing the End Game: Achieving Lymphatic Filariasis (LF) in the Pacific Island Countries (with James Cook University)」プロジェクトの中で太平洋諸国におけるリンパ系フィラリア症制圧完了を伝播阻止により確認するため、関係各国の資料・データを収集。Catalogue を作成し分析および解析に使用。Catalogue にまとめられた各サイトにおける資料の数は次の表のとおり。

Location	All documents	PacELF documents
Nagasaki	1175	660
JCU, Australia	742	709
WHO HQ	664	130
WPRO	136	136
WHO Fiji	406	357
<b>Total</b>	<b>3123</b>	<b>1992</b>

- ・平成 27 年度第一回日本熱帯医学会理事会 出席, 5/22, 長崎大学
- ・FAO-APHCA/OIE/USDA Regional Workshop on Prevention and Control of Neglected Zoonoses in Asia Key Speaker として参加, 15-16 July, Obihiro, Japan
- ・WHO-15<sup>th</sup> Meeting of The Western Pacific Regional Programme Review Group on Neglected Tropical Diseases 出席, 20 to 22 July 2015, Davao, Philippines
- ・WHO-Meeting of National Programme Managers, Preventive Chemotherapy Neglected Tropical Diseases 出席, 28-30 September 2015 and Regional Programme Review Group Meeting, October 01-02 2015, Cotonou, Benin
- ・アフリカにおける NTDs 対策のための国際共同研究プログラム課題評価委員会 出席, 10/2, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構, 東京
- ・研究集会「太平洋リンパ系フィラリア症対策会議」開催, 10/17, 長崎大学, 長崎
- ・WHO-Meeting of National Programme Managers' on Lymphatic Filariasis (LF) and Soil-Transmitted Helminthiasis (STH) 出席, 10 to 11 November, New Delhi, India



- ・ WHO-12th meeting of the Regional Programme Review Group (RPRG) meeting 出席, 12 to 13 November, New Delhi, India
- ・ 平成 27 年度第二回日本熱帯医学会理事会 出席, 12/4, 大阪大学, 大阪
- ・ 第 2 回日本熱帯医学会男女共同参画推進委員会企画シンポジウム オーガナイザーとして出席, 12/6, 大阪大学, 大阪
- ・ 沖縄感染症研究拠点形成促進事業「動物媒介性感染症対策の沖縄での施策提言とネットワーク形成に関する研究」沖縄での施策検討第一回会議 出席, 12/9, 沖縄
- ・ DNDi Clinical Expert Meeting on Lymphatic Filariasis 参加 発表 ”PacELF – Eliminating lymphatic filariasis in the Asia Pacific”, 22-23 January 2016, New Delhi, India
- ・ 第 33 回日本オセアニア学会研究大会シンポジウム 発表「太平洋リンパ系フィラリア症対策計画(PacELF)とその成功」, 3/19, マホロバ・マインズ三浦, 神奈川
- ・ 東京都蚊媒介感染症対策会議委員として活動

## 2) 国内外ネットワークの構築

### 【2014年度】

- ・ TASKFORCE、ゲイツ財団 FTG 委員会 “Filling the Gap”委員として参加, 14 to 18 April, Atlanta, USA
- ・ インドネシア政府による WHO World Health Day 式典参加、講演「Global Strategy on Integrated Vector management: A success story for disease control」, 25 to 28 April, Indonesia
- ・ G-HIT フォーラム参加, 6 June, Tokyo
- ・ サモア大使館独立記念式典 参加, 6 June, Tokyo
- ・ Global Health Forum 参加, 10/31, 東京
- ・ WHO-8<sup>th</sup> meeting of GAELF / 1<sup>st</sup> meeting of the STH Coalition with the Global 会議座長として参加, 8 to 12 December, Ethiopia



【2015年度】

- ・ G-HIT フォーラム参加, 5 Jun, Tokyo
- ・ サモア大使館独立記念式典 参加, 12 June, Tokyo
- ・ 北里大学 意見交換, 7/22, 北里大学, 東京
- ・ 東京理科大学 意見交換, 8/7, 東京理科大学, 東京
- ・ ゲイツ財団会議-Coalition for Operational Research on Neglected Tropical Disease 出席, October 22-23, Philadelphia, USA
- ・ Advocacy 活動「The Japan Time」 December 8, 2015 “Eliminating lymphatic filariasis in the Pacific”
- ・ G7 Advocacy に関する意見交換のため Amber L. Cashwell (SABIN)氏と面談, December 17, 東京
- ・ 山梨大学 意見交換, 2/1, 山梨大学, 山梨
- ・ 佐々 学 生誕 100 年記念式典・講演会 参加, 3/14, 八芳園, 東京
- ・ JICA/JOCV 感染症対策 AG アドバイザリー・グループ参加

3) 日本国内向け情報発信、啓蒙活動

【2014年度】

- ・ NHK ラジオ深夜便「明日への言葉」『昆虫がもたらす病と闘って30年』, 5/8・5/9 放送
- ・ 東京女子大学キャリアイングリッシュアイランド講演会 講演「WHOの仕事：熱帯病対策-世界フィラリア症制圧計画を例に」, 6/13, 東京女子大学, 東京
- ・ みやクリニック講演会 講演「蚊とデング熱の話」, 9/2, みやクリニック, 東京
- ・ 長崎大学熱帯医学研究所 PR ビデオ, 9/3, 東京
- ・ 長崎大学熱帯医学研究所ミュージアム 展示パネル原案作成, 9/9-9/12・11/25-11/28, 長崎大学, 長崎



- ・Eisai Access To Medicines サイト世界各地からの報告 現地レポート「リンパ系フィラリア症制圧プログラムに関わる人々のエピソード キリバスの人の話 —hope—」
- ・有生研フォーラム 講演「WHO の活動と私」, 9/20, 東京
- ・アステラスランチョンセミナー 講演「顧みられない熱帯病を顧みられる熱帯病へ」, 11/3, 東京
- ・玉川大学「全人」記事, 11/3, 東京

【2015年度】

- ・自衛隊中央病院 高等看護学院 第56期看護学生研修, 4/23, 長崎大学
- ・「感染症とたたかう長崎大学展」, 4/25-5/28, 長崎歴史文化博物館, 長崎
- ・お茶の水女子大学 OG 会 講演, 5/9, お茶の水女子大学
- ・キンチョウ Yahoo!Japan サイト「蚊が媒介する感染症予防のために まじ蚊！通信 まじめに楽しく蚊が媒介する感染症対策」内、対談記事「蚊の専門家に聞いてみた」5/18-9/30 掲載
- ・イカリクリンネス大学特別記念講演会 講演「熱帯病とたたかった30年」, 6/10, ホテル日航東京, 東京
- ・玉川学園 SGH グローバルキャリア講座 講演, 6/13, 玉川学園, 東京
- ・世界モスキートデイ「蚊と蚊がもたらす病気を知ろう」開催, 8/20, 長崎大学, 長崎
- ・長崎大学熱帯医学研究所市民公開特別講座「蚊と蚊がもたらす病気を知ろう」講演「蚊がもたらす病気について／日本から世界へ」, 8/29, 長崎大学, 長崎
- ・読売新聞 2015.10.18【教えて yomiDr.】「顧みられない熱帯病」制圧へ連携 日本も貢献
- ・産経新聞 産経ニュース 2015.10.20【ノーベル賞受賞】「人類 VS 寄生虫の闘いに武器をくれた！」北里大・大村特別栄誉教授の業績を医師らが激賞
- ・第3回 BMSA 近畿地域拠点学術集会「熱帯病(昆虫媒介病)の国際情勢と対処法」講演「熱帯病(昆虫媒介病)の国際情勢」, 12/11, 大阪医科大学, 大阪
- ・桐朋女子高等学校 講演, 1/20, 桐朋女子高等学校, 東京



- ・山梨大学 第五回学長招待特別講演会 講演「WHO 顧みられない熱帯病対策：世界リンパ系フィラリア症制圧計画－大村智博士のイベルメクチンを使った疾病対策の話」, 2/1, 山梨大学, 山梨
- ・平成 27 年度沖縄県委託事業「沖縄感染症研究拠点形成促進事業」動物媒介性感染症対策の沖縄での施策提言とネットワーク形成に関する研究 公開シンポジウム「顧みられない熱帯病(NTD)制圧」講演「フィラリア症の世界制圧と日本の貢献～WHO によるイベルメクチンを用いたフィラリア症抑制の取り組み～」, 2/7, パシフィックホテル沖縄, 沖縄
- ・第 34 回日本国際保健医療学会西日本地方会ユースフォーラム「途上国のクスリの未来～これからの途上国医療とクスリのお話をしよう～」講演「顧みられない熱帯病の薬剤投与による対策」, 2/27, 川崎医科大学, 岡山
- ・第 9 回長崎大学大学院医歯薬総合研究科リーディング大学院「熱帯病・新興感染制御グローバルリーダー育成プログラム」市民公開シンポジウム「リーダーシップを考える 2016：困難なプロジェクトを成功に導くリーダーシップ」講演, 2/29, 長崎大学, 長崎
- ・「APEX CLUB」第 39 号 “ケニアのツェツェバエキャンプ”
- ・「クリンネス」2 月号 2016 “熱帯病と闘う日々”
- ・「佐々学生誕 100 年記念誌 佐々学先生と私」 ” "HUMAN FILARIASIS" の佐々先生”
- ・ランチタイムセミナー開催, 毎月第 3 金曜日, 長崎大学, 長崎
  - 第 1 回「長崎から世界へ ～LF 室の使命」一盛和世
  - 第 2 回「熱帯病克服をめざして」濱野真二郎
  - 第 3 回「子ども感染症教室の取り組み」森保妙子
  - 第 4 回「モスクイトハンターのんちゃんの蚊をめぐる冒険」今西望
  - 第 5 回「眠れるサバンナの美女 ネムリユスリカの物語」皆川昇
  - 第 6 回「世界モスクイトデイ『蚊と蚊がもたらす病気を知ろう！』活動報告」吉原圭亮
  - 第 7 回「What is WHO」矢島綾
  - 第 8 回「獣医の私と熱帯医学」外川裕人
  - 第 9 回「Project Su3(すう～すう～すう～)草を刈って蚊を減らそう！」砂原俊彦
  - 第 10 回「ハラル・プロジェクト」嶋田智
  - 第 11 回「マダガスカルで手を洗おう！SASAO NY TANANAO！」市野紗登美
  - 第 12 回 3/25 開催予定



#### 4) 熱帯病分野の人材育成

##### 【2014年度】

- ・慶応義塾大学医学部6年生「熱帯病制圧への道：リンパ系フィラリア症を例に」, 5/8, 慶応義塾大学, 東京
- ・熱帯医学研修過程「WHO 顧みられない熱帯病への取り組み『リンパ系フィラリア症世界制圧計画』を例に」, 6/2-6/3, 長崎大学, 長崎
- ・熱帯医学専攻 MTM 「Global Programme to Eliminate Lymphatic Filariasis (GPELF)」, 6/2-6/3, 長崎大学, 長崎
- ・ICU 高校「国連(WHO)で働くということ『リンパ系フィラリア症世界制圧計画』」, 6/4, ICU 高校, 東京

##### 【2015年度】

- ・熱帯医学研修過程「WHO 顧みられない疾病対策への取り組み」, 6/1, 長崎大学
- ・熱帯医学専攻 MTM 「NTD Filariasis Eradication program」, 6/1, 長崎大学
- ・リーディング大学院 For nurturing global leaders in tropical and emerging communicable diseases, 6/2, 長崎大学
- ・愛知医科大学 , 6/8, 愛知医科大学
- ・リーディング大学院 For nurturing global leaders in tropical and emerging communicable diseases, 12/14-15, 長崎大学
- ・東京大学「MDA/Preventive Chemotherapy – a strategy for Neglected Tropical Diseases(MDA)」, 1/27, 東京大学



## 2. 研究活動

【2014年度】

### <論文・著作>

- ・「PLOS Neglected Tropical Disease」 Volume 8 Issue 12 “Global Programme to Eliminate Lymphatic Filariasis: The Processes Underlying Programme Success”
- ・「Tropical Medicine and Health」 “MDA-Lymphatic Filariasis”
- ・Eisai Access To Medicines サイト世界各地からの報告 現地レポート「リンパ系フィラリア症制圧プログラムに関わる人々のエピソード キリバスの人の話 —hope—」
- ・玉川大学「全人」記事, 11/3, 東京

【2015年度】

### <研究集会>

「太平洋リンパ系フィラリア症対策会議(PacELF)」 10/17 長崎大学

概要：

長崎で開催の第68回日本寄生虫学会南日本支部大会と共催。研究集会に先立ち、James Cook University との会議の場を設け、お互いの収集したデータ、文献、情報をもとに PacELF 各国の LF 対策計画、進捗、成果、課題を精査・分析し意見交換。会議にて考察されたことを研究集会ならびに南日本支部大会におけるシンポジウムで紹介。参加者の意見をくみ上げ、まとめた上で WHO への提言とする。

### <共同研究>

「Completing the End Game: Achieving Lymphatic Filariasis(LF) in the Pacific Island Countries」

Purpose & Details:

This project is a collaboration between JCU, Nagasaki University and WHO that will serve as a platform for learning. Therefore this project offers to assemble a “data





warehouse” and write a book summarizing the countries’ achievements throughout the region. The compilation of programmatic data will also benefit those countries that are ready to submit national dossiers to have the elimination of LF validated by WHO.

<論文・著作>

- ・「医学のあゆみ」253 巻 1 号 “世界の動きとリンパ系フィラリア症制圧対策計画”
- ・「臨床評価」43 巻 1 号 2015 “世界の顧みられない熱帯病(NTDs)の現状と対策”
- ・「衛生動物学の進歩」第 2 集 “世界リンパ系フィラリア症対策におけるベクターの役割”
- ・「APEX CLUB」第 39 号 “ケニアのツェツェバエキャンブ”
- ・「クリンネス」2 月号 2016 “熱帯病と闘う日々”
- ・「佐々学生誕 100 年記念誌 佐々学先生と私」 ”"HUMAN FILARIASIS" の佐々先生”
- ・「The Japan Time」December 8, 2015 “Eliminating lymphatic filariasis in the Pacific”

<役職>

- ・長崎大学客員教授
- ・愛知医科大学客員教授
- ・James Cook University, Adjunct Professional Research Fellow
- ・WHO アフリカ地域 LF&NTD プログラム評価委員
- ・ゲイツ財団 NTD 対策テクニカル支援グループメンバー
- ・東京都蚊媒介感染症対策会議委員
- ・アフリカにおける NTDs 対策のための国際共同研究プログラム課題評価委員会委員
- ・国立国際医療センター客員研究員
- ・JICA/JOCV 感染症対策 AG アドバイザリー・グループメンバー
- ・有害生物研究会 幹事



### 3. 獲得した外部資金

【2014年度】

<フィラリア NTD 室寄附金>

- ・エーザイ株式会社

【2015年度】

<研究費>

- ・ James Cook University との共同研究費 (USAID より The Task Force for Global Health へ委託された資金による)

研究タイトル「Completing the End Game: Achieving Lymphatic Filariasis(LF) in the Pacific Island Countries」

<フィラリア NTD 室寄附金>

- ・アステラス製薬株式会社
- ・イカリ消毒株式会社
- ・エーザイ株式会社
- ・環境機器株式会社
- ・元木貢 (アペックス産業株式会社)

<モスキートデイ協賛金>

- ・大日本除虫菊株式会社

以上